

2/13・27・3/5 市民大学講座

茨城大学人文社会科学部の馬渡剛教授をお迎えし、令和元年度後期市民大学講座を開催しました。後期講座は「強くしなやかな地域と自助・共助・公助」と題し、防災・人材育成・地域コミュニティの未来の3つの視点から、災害時の自助・共助・公助、学生と自治体の協働、若者の投票行動による地域コミュニティの未来について講義が行われました。受講者からは、「意識が高まった」「機会があればまた参加したい」などの感想をいただきました。



▲熱心に受講されていました

2/16 障害者・高齢者フライングディスクアキュラシー団体競技大会

リリーアリーナMITO（水戸市青柳公園市民体育館）で、第4回茨城県障害者・高齢者フライングディスクアキュラシー団体競技大会が開催されました。市の障害者フライングディスク教室参加者で編成した「おおみやチーム」がKIZUNAトーナメント（B）へ出場し、チームワークと日頃の練習の成果をいかに発揮し、強豪に打ち勝ち見事優勝しました。

〔選手〕 おおみやチーム（敬称略）
先鋒 鈴木 万葉 副将 富山 和晃
次鋒 木島 彩希 広木 拓也
中堅 猿田 和幹 大将 長谷川 広樹



▲おめでとうございます

4/1 新常陸大宮観光大使

本市の魅力や観光・イベント情報などを全国に発信する観光大使に、市内在住の鈴木睦子さん、皆川日菜子さん、内藤千穂さんの3人が選ばれました。3人は「地域に元気を届けられるように、生まれ育った常陸大宮市の魅力をたくさんの方に伝えていきたいです!」と意気込みを語りました。今後、市内外のさまざまなイベント等に参加する予定です。



▲よろしくお願いします!

4/6 厚生労働大臣特別表彰

厚生労働大臣特別表彰を川野邊耕機さん（盛金）、小室美智子さん（下檜沢）が受賞されました。川野邊さんは、地域社会の実情を把握し、関係機関と連携して地域住民及び地域社会の福祉の増進に寄与されました。小室さんは、他市町村の主任児童委員、児童相談所、学校との連携業務に尽力し、地域福祉・児童福祉の向上に大きく貢献されました。※厚生労働大臣特別表彰とは、退任された民生委員・児童委員のうち、多年にわたってその職務に精励され、功績が顕著であると認められる方に対し、厚生労働大臣が特別に表彰を行うものです。



▲おめでとうございます

3/10 茨城地域医療学講座設置

県北地域の医師不足改善のため、市では県とともに東京医科歯科大学に、幅広い疾患に対応できる総合診療医を育成する寄附講座「茨城地域医療学講座」を設置するための協定を締結しました。茨城地域医療学講座とは、総合診療医の育成やICT（情報通信技術）やAI（人工知能）を使った教育・診療支援システム構築の研究をはじめ、同大学の医学生および研修医が常陸大宮済生会病院で地域医療の経験を積むことで、将来的な医師の定着を図ることを目的としています。今後も市内の医療提供体制の充実に向け取り組んでいきます。



▲締結式の様子

3/26 常陸大宮市・大館市友好都市推進協議会 産品開発事業 開発商品発表会

友好都市である秋田県大館市と両市の特産品を用いて共同開発した3商品の発表会を行いました。開発したのは、本市の野菜と大館市の比内地鶏を具材にした「比内地鶏つけけんちん」と、本市のエゴマ油や柚子と大館市の比内地鶏ガラスープ、とんぶり※などを使った2種類のドレッシングです。道の駅常陸大宮「かわプラザ」で3月26日より数量限定で販売しています。

※とんぶり…「畑のキャビア」と呼ばれており、大館市は日本国内唯一のとんぶりの生産地です。



▲左から三次真一郎市長、福原淳嗣大館市長

常陸大宮市史研究 第3号が刊行されました

常陸大宮市史編さん事業の年度ごとの事業成果をお知らせする『常陸大宮市史研究 第3号』が刊行されました。内容は、市域出身の伝承が残る鎌倉時代の御家人「岩瀬与一太郎」の実像に迫ったものなど、以下9本が収録されています。

- ①「佐竹家人」岩瀬与一太郎考（高橋修）
- ②出羽国秋田藩の文書調査と由緒管理（天野真志）
- ③茨城県常陸大宮の旧金山坑道で発見された鍾乳洞様二次生成物（菊池芳文・八田珠郎・菊池美波）
- ④野上平氏に聞く近世の常陸大宮（近世史部会）
- ⑤描かれた近代の常陸大宮（清水ゆかり）
- ⑥常陸大宮市の那珂川水系の鳥類センサス結果報告（仲田立）
- ⑦凝灰岩の石剣（鈴木素行）
- ⑧令和元年鷺子祇園祭運行予定表（大津忠男）
- ⑨小貫地区で発見された佐竹氏関連史料（高橋拓也）

当刊行物は市内・県内の図書館で閲覧可能なほか、歴史民俗資料館大宮館と文書館で販売しています（1冊700円）。数に限りがありますので、お早めにお求めください。

常陸大宮市史研究 第3号

＜論文＞		
「佐竹家人」岩瀬与一太郎考—その本姓と出自めぐって—	高橋 修	1
出羽国秋田藩の文書調査と由緒管理—佐竹家中による記帳と記帳の継承—	天野 真志	13
茨城県常陸大宮の旧金山坑道で発見された鍾乳洞様二次生成物	菊池 芳文・八田 珠郎・菊池 美波	120(1)
＜常陸大宮市史バトン列談①＞		
野上平氏に聞く近世の常陸大宮—記録と記憶の継承—	近世史部会	33
＜研究ノート＞		
描かれた近代の常陸大宮—会沢忠の現代編纂者—	清水 ゆかり	51
常陸大宮市の那珂川水系の鳥類センサス結果報告（2014年4月-2019年3月）	仲田 立	106(25)
凝灰岩の石剣—関東地方東部における縄文時代晩期の石神製作について—	鈴木 素行	118(12)
＜資料紹介＞		
令和元年鷺子祇園祭運行予定表—現代の祭礼の問題点とその解決策の一方策—	大津 忠男	65
小貫地区で発見された佐竹氏関連史料—野上家文書から—	高橋 拓也	79
常陸大宮市史編さん事業 活動記録		131
「常陸大宮市史編さんだより」まとめ		144

2020.3
常陸大宮市教育委員会

▲常陸大宮市史研究 第3号表紙